

がん対策推進計画における指標（案）一覧

指標	現行値	目標値 (方向性)	出典	重点	一般	デー タの み
全体目標						
1	がんの75歳未満年齢調整死亡率 (人口10万対)	75.5 (平成28年)	減らす (67.9未満)	国立がん研究センターがん対策情報センター	★	
2	日常生活をがんにかかる前と同じように過ごすことができていると回答した患者(手術や副作用などはあるが、以前と同じように生活できていると回答した人を含む。)の割合	66.9% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査	★	
3	年齢調整罹患率(人口10万対)	398.7 (平成24年)	減らす	医療計画作成支援データブック		●
4	罹患者数	88,201 (平成24年)	減らす	医療計画作成支援データブック		●
5	がんの死亡者数(人口10万対)	46.2 (平成27年)	減らす	医療計画作成支援データブック		●

ピンク(★)・・・重点指標

明確な方向性があり、重点的に進行管理を行うことが望ましいもの

黄(●)・・・一般指標のうち、方向性を示すことができるもの

白(○)・・・一般指標のうち、数値管理のみ行うことが適当なもの

※ 一般指標について、望ましいあり方を「方向性」として記載

	指標	現行値	目標値 (方向性)	出典	重点	一般	データのみ
I がんの予防対策							
6	成人の喫煙率	全体18.3% 男性28.2% 女性9.3% (平成28年)	全体12% 男性19% 女性6% (やめたい 人がやめた 場合の喫煙 率)	国民生活基礎調査	★		
7	受動喫煙の機会	行政機関 5.5% 医療機関 2.7% 職場37.8% 飲食店48.3% (平成27年)	受動喫煙 をなくす	東京都民の健康栄 養状況	★		
8	野菜の摂取量(1日当たり) 350g以上の人の割合(20歳以上)	男性35.5% 女性34.4% (平成27年)	増やす (50%)	東京都民の健康栄 養状況	★		
9	果物の摂取量(1日当たり) 100g未満の人の割合(20歳以上)	男性61.8% 女性52.0% (平成27年)	減らす	東京都民の健康栄 養状況	★		
10	食塩の摂取量(1日当たり) 8g以下の人の割合(20歳以上)	男性22.4% 女性37.1% (平成27年)	増やす	東京都民の健康栄 養状況	★		
11	適正体重を維持している(BMI18.5以上25 未満)人の割合	男性67.4% (20歳から69歳) 女性66.9% (40歳から69歳) (平成27年)	増やす	東京都民の健康栄 養状況	★		
12	歩数(1日当たり)が8,000歩以上の人の割 合	男性48.0% (20歳から64歳) 42.3% (65歳から74歳) 女性39.9% (20歳から64歳) 32.3% (65歳から74歳) (平成27年)	増やす	東京都民の健康栄 養状況	★		
13	リスクを高める量の飲酒をしている人の割合 (20歳以上)	男性18.9% 女性15.4% (平成27年)	減らす	東京都民の健康栄 養状況	★		
14	肝がんの罹患率(年齢調整り患率)	17.1 (平成24年)	減らす	全国がん罹患モニ タリング集計	★		

	指標	現行値	目標値 (方向性)	出典	重点	一般	デー タの み
II がんの早期発見の取組							
15	がん検診受診率	胃がん 39.8% 肺がん 37.2% 大腸がん 41.9% 子宮がん 39.8% 乳がん 39.0% (平成27年)	5がん 50%	健康増進法に基づ くがん検診の対象 人口率等調査	★		
16	全ての区市町村で科学的根拠に基づくがん 検診の実施	1自治体(完 全遵守※) (平成27年度)	全区市町 村	精度管理評価事業	★		
17	がん検診精密検査受診率	胃がん 70.6% 肺がん 66.2% 大腸がん 54.6% 子宮がん 58.6% 乳がん 77.4% (平成27年度)	5がん 90%	精度管理評価事業	★		

※完全遵守…がん検診において「がん種」「検診方法」「検診対象者」「実施回数」についてすべて指針どおりであること

	指標	現行値	目標値 (方向性)	出典	重点	一般	データのみ
Ⅲ がん医療提供体制							
18	主治医等からの説明により疑問や不安が解消された(どちらかというと解消されたを含む。)と回答した患者の割合	87.8% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査	★		
19	拠点病院等の整備数 ・拠点病院 ・診療病院 ・都拠点病院 ・都協力病院	58 (平成29年度)	増やす 又は 現状維持	-	★		
20	緩和ケアチーム以外に、横断的な医療チームによるがん治療サポート体制がある拠点病院等の割合	58 (平成28年度)	現状維持	現況報告書		●	
21	セカンドオピニオンについて説明があった患者の割合	27.3% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査		●	
22	拠点病院と連携する地域医療機関で治療や健康管理を受けている患者の割合	22.1% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査		●	
23	退院前カンファレンスを実施医療機関数(退院時共同指導料を算定する医療機関数)	58 (平成28年度)	現状維持	現況報告書		●	
24	退院前カンファレンス実施数(退院時共同指導料算定数)	2,423件 (平成27年)	増やす 又は 現状維持	現況報告書		●	
25	地域連携クリティカルパスに基づく診療提供等実施件数	1,254件 (平成28年)	増やす	医療計画作成支援データブック		●	
26	がん患者リハビリテーション料算定医療機関数	92施設 (平成28年)	増やす 又は 現状維持	医療計画作成支援データブック		●	
27	がん患者リハビリテーション料算定回数	200,936件 (平成28年)	増やす 又は 現状維持	医療計画作成支援データブック		●	
28	拠点病院等におけるがん患者リハビリテーション料算定件数	80,803件 (平成28年度)	増やす 又は 現状維持	現況報告書		●	

	指標	現行値	目標値 (方向性)	出典	重点	一般	データのみ
29	悪性腫瘍特異物質治療管理料の算定件数	1,468,530 (平成28年)	—	医療計画作成支援 データブック			○
30	外来化学療法の実施件数	24,764 (平成26年度)	—	医療施設調査(平成26年厚生労働省)			○
31	放射線治療の実施件数	32,289 (平成26年度)	—	医療施設調査(平成26年厚生労働省)			○
32	悪性腫瘍手術の実施件数	25,297 (平成26年度)	—	医療施設調査(平成26年厚生労働省)			○
33	術中迅速病理組織標本の作製件数	22,257 (平成28年)	—	医療計画作成支援 データブック			○
34	病理組織標本の作製件数	246,162 (平成28年)	—	医療計画作成支援 データブック			○
35	放射線治療専門医が配置されている拠点病院等の割合	79.3% (平成28年度)	—	現況報告書			○
36	がん薬物療法専門医が配置されている拠点病院等の割合	56.9% (平成28年度)	—	現況報告書			○
37	がん専門看護師が配置されている拠点病院等の割合	77.8% (平成29年)	—	日本看護協会ホームページ			○
38	がん専門薬剤師が配置されている拠点病院等の割合	50% (平成29年)	—	日本医療薬学会ホームページ			○
39	がん治療認定医が配置されている拠点病院等の割合	100% (平成29年)	—	日本がん治療認定医機構ホームページ			○
40	遺伝カウンセリング加算を届け出ている拠点病院等の割合	13.8% (平成28年度)	—	現況報告書			○

	指標	現行値	目標値 (方向性)	出典	重点	一般	データのみ
IV 緩和ケア							
41	日常生活をがんにかかる前と同じように過ごすことができていると回答した患者(手術や副作用などはあるが、以前と同じように生活できていると回答した人を含む。)の割合【再掲】	66.9% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査	★		
42	緩和ケア研修会を受講した拠点病院等の医師数	-	増やす		★		
43	緩和ケア研修会を受講した拠点病院等以外の医師数	-	増やす		★		
44	緩和ケアのイメージについて、「がんが進行し治療ができなくなった場合の最後の手段である」を選択した都民の割合	30.1% (平成28年度)	減らす	都民意識調査	★		
45	緩和ケアのイメージについて、「抗がん剤や放射線の治療などができない状態の方に対する痛みなどの苦痛を軽減するためのケア」を選択した患者の割合	37.8% (平成28年度)	減らす	東京都がん患者調査	★		
46	拠点病院においてスクリーニングが実施されている患者の割合	48.8% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査		●	
47	拠点病院において痛みやつらさの改善のためのケアを受け、改善した患者の割合	55.3% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査		●	
48	外来緩和ケア管理料を届出ている拠点病院等の割合	90% (平成29年)	増やす 又は 現状維持	施設基準		●	
49	緩和ケアチームによる年間新規診療症例数(拠点病院)	9,700件 (平成29年)	増やす 又は 現状維持	現況報告書		●	
50	緩和医療専門医を配置している拠点病院の割合(拠点病院)	36.1% (平成29年)	増やす 又は 現状維持	現況報告書		●	
51	緩和ケアチームを有する医療機関数	73施設 (平成26年度)	増やす 又は 現状維持	医療施設調査(平成26年厚生労働省)		●	
52	がん性疼痛緩和の実施件数(届出件数)	290件 (平成28年)	増やす 又は 現状維持	医療計画作成支援データブック		●	
53	末期のがん患者に対して在宅医療を提供する医療機関数(在宅がん医療総合診療料の届出施設数)	1,385件 (平成28年)	増やす	医療計画作成支援データブック		●	

	指標	現行値	目標値 (方向性)	出典	重点	一般	データのみ
54	がん患者指導の実施数 (届出施設数)	87施設 (平成27年)	増やす 又は 現状維持	医療計画作成支援 データブック		●	
55	緩和ケア研修会を受講した医療従事者の 人数(医師以外)	-	増やす			●	
56	外来緩和ケアの実施件数(算定件数)(拠点 病院等)	1,487件 (平成28年度)	-	現況報告書			○
57	拠点病院等におけるがん性疼痛緩和の実 施件数 (がん性疼痛指導管理料算定件数)	18,795件 (平成28年度)	-	現況報告書			○
58	緩和ケア病棟を有する病院数・病床数	29施設 580床 (平成28年)	-	医療計画作成支援 データブック			○
59	入院緩和ケアの実施件数 (算定回数(緩和ケア診療加算))	118,351件 (平成28年)	-	医療計画作成支援 データブック			○
60	がん性疼痛緩和の実施件数(算定件数)	34,045件 (平成28年)	-	医療計画作成支援 データブック			○
61	在宅がん医療総合診療料の算定件数 (算定回数)	116,406件 (平成27年)	-	医療計画作成支援 データブック			○
62	麻薬小売業免許取得薬局数	4,641施設 (平成28年)	-	医療計画作成支援 データブック(麻 薬・覚せい剤行政 の概要)			○
63	がん患者指導の実施数 (算定回数)	32,170件 (平成27年)	-	医療計画作成支援 データブック			○

	指標	現行値	目標値 (方向性)	出典	重点	一般	データのみ
V 相談支援・情報提供							
64	「がん相談支援センターを今後も利用したい」と回答した患者の割合	63.3% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査	★		
65	がん相談支援センターの認知度(「利用したことがある」「病院内にあることは知っている」と回答した患者・家族の割合)	患者:67.4% 家族:63.1% (平成28年度)	増やす	東京都がんに関する患者・家族調査	★		
66	がん相談支援センターに相談したことがある者の割合	患者:8.8% 家族:7.6% (平成28年度)	増やす	東京都がんに関する患者・家族調査	★		
67	がん罹患後も就業継続している患者の割合	53.7% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査	★		
68	患者の付き添い等のために仕事を辞めた家族の割合	10.2% (平成28年度)	減らす	東京都がんに関する家族調査	★		
69	「がんになっても治療しながら働くことは可能である」との設問に「そう思う」「多少思う」と回答した都民の割合	67.1% (平成28年度)	増やす	都民意識調査	★		
70	「がんは治る病気である」の設問に「そう思う」「多少思う」と回答した都民の割合	68.1% (平成28年度)	増やす	都民意識調査	★		
71	がんポータルサイトの閲覧数	240,861 (平成28年度)	増やす		★		
72	国立がん研究センターによるがん相談支援センター相談員基礎研修(1)～(3)を修了した相談員がいるがん相談支援センターの割合	74.1% (平成28年度)	増やす 又は 現状維持	現況報告書		●	
73	患者団体・患者支援団体の情報提供数	17団体 (平成29年10月)	増やす	がんポータルサイト		●	
74	がんの経験者等に相談したり話をしたことがある患者の割合	19.9% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査		●	
75	がんの経験者やその家族に相談したり話をしたことがある家族の割合	15.8% (平成28年度)	増やす	東京都がんに関する家族調査		●	
76	がん罹患により退職したがその後再就職したものの割合	2.8% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査		●	

	指標	現行値	目標値 (方向性)	出典	重点	一般	データのみ
VI ライフステージに応じたがん医療等の提供							
77	がんポータルサイトの閲覧数(小児がん)	16,268 (平成28年度)	増やす		★		
78	「病院の相談員」に相談した患者(家族)の割合(小児がん)	12.3% (平成28年度)	増やす	東京都小児がんに関する患者調査	★		
79	がん罹患後も就業継続している患者の割合【再掲】	53.7% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査	★		
80	「がんになっても治療しながら働くことは可能である」との設問に「そう思う」「多少思う」と回答した都民の割合【再掲】	67.1% (平成28年度)	増やす	都民意識調査	★		
81	がん相談支援センターのリストをもっている在宅療養相談窓口の数	-	増やす		★		
82	小児がんと速やかに診断された患者の割合(診断されるまでに受診した医療機関数が2か所以下の患者割合)	43.6% (平成28年度)	増やす	東京都小児がんに関する患者調査			●
83	在宅の小児がん患者への緩和ケアの実施(「できない」と回答した医療機関等)	診療所: 67.9% 訪問ST: 38.8% (平成27年度)	増やす	都独自調査			●
VII がんとの共生							
84	日常生活をがんにかかる前と同じように過ごすことができていると回答した患者(手術や副作用などはあるが、以前と同じように生活できていると回答した人を含む。)の割合【再掲】	66.9% (平成28年度)	増やす	東京都がん患者調査	★		
85	「がんは治る病気である」の設問に「そう思う」「多少思う」と回答した都民の割合【再掲】	68.1% (平成28年度)	増やす	都民意識調査	★		
VIII 施策を支える基盤づくり							
86	「がんは治る病気である」の設問に「そう思う」「多少思う」と回答した都民の割合【再掲】	68.1% (平成28年度)	増やす	都民意識調査	★		
87	がん医療は進歩していると感じている都民の割合	79.4% (平成28年度)	増やす	都民意識調査			●

指標	現行値	目標値 (方向性)	出典	重点	一般	デー タの み
88	全国がん登録の認知度	5% (平成28年度)	増やす	都民意識調査		●